



被災者支援システムとは



阪神・淡路大震災以降、各種災害事例の教訓を反映し続けている「被災者支援システム」
今や各種行政施策に対する「住民総合支援システム」でもある！

被災者支援システムの原点は1995年に発生した阪神・淡路大震災に遡ります。当時、西宮市庁舎も全壊、電算機も倒壊するなど大きな被害を受けましたが、職員自らが被災者を支援するシステムを構築することで、被災者、復旧・復興支援業務に大きな力を発揮しました。さらに、東日本大震災での被災者支援業務対応での実経験、教訓、情報化ノウハウなどを反映した当

該システムは、汎用Webシステムとして地方公団体に無償で公開・提供されており、今や住基基盤の各種行政施策に対する住民総合支援システムとしても活用されている。システムの導入やあらゆる危機管理対応（被災者支援業務）等の問合せについては勿論、J-LIS被災者支援システム全国サポートセンターが全面的支援を実施します。

「被災者支援システム」の4つの特徴



01 地方公共団体の立場で、本当に必要な機能をすべて含んでいます

震災の実体験の中、救災・復旧復興業務に携わる職員自身が開発したシステムをベースに現在まで改良を積み重ねてきました。地方公共団体が救災・復旧復興業務を遂行する上で必要な機能をすべて搭載しており、実際の業務での有効性も実証済みです。

03 地方公共団体汎用システムです

このシステムは、地方公共団体情報システム機構が提供していますので、全ての地方公共団体が無償で利用できます。

〈動作推奨環境〉

サーバ環境		
OS	Linux	Fedora9, Linux CentOS5.2以降
Webサーバ	Apache	2.2.9以降
Script言語	PHP	5.2.6以降
データベース	PostgreSQL	8.3.5以降
WebGIS連携を導入する場合	GISエンジン	MapServer 5.4.2
	DBエンジン	PostGIS 1.5 (PostgreSQLのバージョンに依存)
クライアント環境		
ブラウザ	Internet Explorer	11 (Edge)
	Google Chrome	41.0.2272.89m以降
	Mozilla Firefox	36.0.1以降
	Safari	5.1.7以降
PDF表示 (外字対応)	SkyPDF Viewer/Standard/Professional	
管理帳票表示	Microsoft Office Excel	2013/2016/2019/2021

※住所辞書とは、住民基本台帳等で管理している住所情報(住所コード)に位置座標を対応づけたデータ (CSV形式ファイル)のこと。

02 GISと連携したことで、さらに力を発揮します

被災者支援システムとGISが連携したことで、さらに活用場面を広げることができます。(被災状況分析はもとより、大規模面災害における対応や避難行動要支援者関連システムとの連携も可能。)

04 団体における個別カスタマイズにも対応 (各種システムに關係する追加機能は活用可能で、オプションも追加出来ます。)

●個別対応の一例(機能追加)

- ①避難所及び仮設住宅被災者見守り機能
- ②タブレット端末での調査票の自動出力機能と被災状況の自動判定機能
- ③被災者台帳と避難行動要支援者台帳及び日々管理する避難行動要支援者管理システムとの双方向連動
- ④被災住家等台帳管理機能(被災者台帳(名寄せ統合))
- ⑤ウィルス等(鳥インフルエンザ・新型インフルエンザ他)感染行動範囲シミュレーション機能
- ⑥避難者登録の生体認証システム連携機能
- ⑦避難者登録及び被災証明書発行のマイナンバーカード連携機能
- ⑧タブレットによるローカルでの避難者登録(ネットワーク環境未整備の避難所等)
- ⑨新IoT活用による被災者支援業務の多面的展開
- ⑩避難所における個別カスタマイズ機能も活用可能
- ⑪建物の危険度判定処理

●個別対応の一例(オプションシステム)

- ①被害状況収集調査登録管理システム
- ②災害援護貸付金業務管理システム
- ③新型コロナウイルス等各種施策システム

⚠「避難行動要支援者管理システム」は日常業務で運用するものであり被災者支援システムとは別のシステムです。被災者支援システムの「避難行動要支援者関連システム」はその検索・参照系を搭載したものです。

●デモサイトを公開中 詳細は右記のホームページでご確認ください。▶ URL <https://demo.nmc.jp/hss/>

●問合せ先

J-LIS被災者支援システム全国サポートセンター
運営主体(株)システムエージ

住 所 〒662-0934 西宮市西宮浜1丁目31番地
電 話 0798-32-8866 / FAX 0798-32-8865
e-mail hss@ml.j-lis.go.jp
U R L <https://demo.nmc.jp/hss/>

地方公共団体情報システム機構

〒102-8419 東京都千代田区1番町25番地
電 話 03-5214-8002
U R L <https://www.j-lis.go.jp/>



災害時の危機管理に真に役立つ

被災者支援システム



“Hope for the best, but prepare for the worst”
(最善を望み、最悪に備えよ)



●災害時、地方公共団体がその責務を果たすために

- 大規模災害の発生時、被災状況に関する最新の情報を迅速に収集し、活用していくことなしに、地方公共団体が的確かつ最善の対応を行っていくことはできません。
- また、災害からの復興にあたっては、庁内のあらゆる部署の緊密な協働が不可欠であり、情報共有と連携を円滑にできるしくみの有無がその成否に大きな影響を及ぼします。
- 「被災者支援システム」は、災害時に地方公共団体がその責務を果たしていくうえで、大きな力を発揮します。

●中長期的に継続してシステム利用が可能

- 地方公共団体情報システム機構(J-LIS)が継続的に機能強化やサポートを行います。
- 地方公共団体であれば、無償でシステム利用可能。
- 標準的なサーバーがあれば動作するほか、クラウドベースでも構築可能であり、非常に低いコストでの構築・運用が可能。
- 運用開始後のサポート体制も整えています。
- 地域情報プラットフォーム被災者台帳管理ユニット準拠
- 情報提供ネットワークシステムによる情報連携(マイナンバー制度)対応。

●被災者支援システムを活用するメリット

- 危機管理関連業務に必要な十分な機能を実装。
- 発災時点の住基データと連携することにより、発災直後から被災者支援業務を運用開始可能。(日々住基データをダウンロードするのがベスト)
- 防災・減災・予防保守等事前シミュレーション機能実装、及び災害シミュレーション機能実装。
- 罹災証明・避難所運営・緊急物資・仮設住宅など、重要な被災者支援業務に対応可能。
- 住民基本台帳と連動して作動するため、基礎となるデータの正確性が担保され、既存業務との高い整合性・親和性を確保。(CSV形式によるデータの出力も可能)

●導入も簡単

- システム関連の知識がない場合も、サポートセンターが構築や運用について無償で全面支援します。
- 導入前の相談や、既存データの洗出し等被災者支援業務への活用方法についても受け付けています。(地方公共団体からのみ)

地方公共団体情報システム機構



記録所 輸出	住所	真事輸出	住所	真事輸出	住所
(仮)	北沢	北沢輸出	北沢	真事 真事 北沢 真事	0 1 0 1
氏名	藤村		住所		

選択	記録所 氏名	住所/連絡番号	性別	生年月日 西暦	忌日 西暦	住所 氏名	氏名 氏名
☒	000001 藤村 清一	0173-04-00017275 北沢 一	男	天 1944/04/20		藤村 清一	藤村 清一
☒	000002 藤村 清二	0173-04-00017313 北沢 一	男	天 1944/02/23		藤村 清二	藤村 清二

[illegible]

姓名	性别	年龄	职业	婚姻	住址
1. 王某某	男	35	教师	已婚	上海市浦东新区
2. 李某某	女	30	医生	未婚	上海市浦东新区
3. 张某某	男	40	工程师	已婚	上海市浦东新区
4. 赵某某	女	38	护士	已婚	上海市浦东新区
5. 刘某某	男	32	程序员	未婚	上海市浦东新区
6. 孙某某	女	28	会计	已婚	上海市浦东新区
7. 周某某	男	45	经理	已婚	上海市浦东新区
8. 吴某某	女	33	设计师	未婚	上海市浦东新区
9. 郑某某	男	37	销售	已婚	上海市浦东新区
10. 王某某	女	25	学生	未婚	上海市浦东新区



- 被災時の氏名、住所等の基本情報
- 被災状況や避難先住所等の連絡先
- 個人番号制度への対応
- リ災証明書、被災住家等証明書の発行
- 被災者台帳による世帯の被災状況の総合管理
- 避難者受入情報の管理
- 大規模な面的災害による被害状況の一括処理
- 世帯及び個人の追跡履歴管理



担当者：管理士-J- 2008/04/09 FRI 05:41		施設自主管理システム 住宅管理	
施設住宅管理 			
家主管理 家主住宅CD 名称 001 西宮市御所住宅 郵便番号 662-0034 住所 兵庫県西宮市谷家1-10番1号			
棟管理			
棟ID	0001	棟名称	第一棟
部屋数	4 部屋	階数	1DK
入居可能人数	4 人	広さ	約 30 m²
部屋管理 更新 閉る			
部屋番号	部屋名称	入居情報	入居不可
0001	1号室	入居中 00000109	☐ 入居可 ☒ 入居不可
0002	2号室	入居中 00000109	☐ 入居可 ☒ 入居不可
0003	3号室	空室	☒ 入居可 ☐ 入居不可
0004	4号室	空室	☒ 入居可 ☐ 入居不可



担当者：管理者ユーザ		2010/04/15 PM04:00:00			
例建家管理システム 家庭解体・撤去申請状況集計					
集計	グラフ	戻る			
集計条件を入力して「集計」をクリックしてください					
対金期間	2010 年 04 月 13 日 ~ 2010 年 04 月 15 日 ※ 対金期間は毎月1日～末日の範囲で指定して下さい。対金日の指定は「対金日」の項目から指定して下さい。				
対金日付	☐ 申請日 ☒ 完了日 ☐ 支払日				
	発注筆者 (44) 西宮第一丁目建設				
件数: 2 件 支払額計: 550,000 円					
管理番号	件名(氏名・建物名)	申請日 解除日	発注日 筆者名	完了日 完了日	支払額
0000002	西宮 太郎 西宮浜2丁目9999番9999号	H22.04.15 H22.04.15	H22.04.07 (株) 西宮第一丁目建設	H22.04.10 H22.04.14	250,000 円
0000003	西宮 太郎 西宮浜2丁目9999番9999号	H22.04.15 H22.04.15	H22.04.11 (株) 西宮第一丁目建設	H22.04.13 H22.04.15	300,000 円



担当名：管理官—ザ—		2005/04/06 PM 0:10:40	
難性者—通称管理システム、難性者—直			
姓	名		
●難性者氏名			
住所			
基地			
死亡日	2008 / 04 / 01 ~ 2008 / 04 / 30		
生年月日			
行方不明	☐ 未定 ☐ 未定 ☐ 閉鎖中 ☐ 読み取れず		
難性者名		取得名	
該当する氏名をカンマ区切って入力。			
難性者コード	死亡日	難性者住所	通称コード
難性者氏名	氏名	氏名	氏名
00001 [01] [0001]	16000414 12歳 男	西宮市・番1号	00001 難性 一部
00002 [02] [0002]	16000415 12歳 女	西宮市・番1号	00001 難性 一部
00003 [03] [0003]	16000420 10歳 男	六甲市町10番9号	00002 西宮 大部